

平成27年度 上越市生徒指導部 活動報告

部長 丸山 治夫 豊原小学校

1 活動テーマ 問題行動（いじめ）防止に向けた学校体制づくり

2 活動の概要

<研修会の開催>

○期 日 平成27年11月11日（水）

○場 所 上越市市民プラザ 第一会議室

○内 容 ①各校のいじめ防止基本方針をもとにした参観者による情報交換【グループ協議】

②「いじめの予防と対応について」【講話】上越市下黒川小学校教頭 清水謙一 様

（1）各校のいじめ防止基本方針をもとにした情報交換（要約）

ア. 未然防止 イ. 早期発見 ウ. 即時対応 について、小グループに分かれて情報交換・実践発表を行った。

（2）「いじめの予防と対応」についての講話（要約）

○いじめ防止基本方針の活用に向けて

（i）年度当初の職員会議で生徒指導部の方針として、職員に周知を図る。

（ii）いじめ防止基本方針を保護者に示す。

（iii）児童生徒にいじめ・問題行動に関する学校の方針を伝える。

○いじめへの対応で大切にしたいこと

（i）未然防止

各学校で人間関係づくりを高めるさまざまな取組がなされているが、その力が実際の場面でどう使われているかをしっかりと確認するのが大事。

（ii）早期発見（いじめのサインに気付くために）

何かおかしい、という「違和感」を感じ取る。サインに気付いたら、被害を過小評価しない。その際に、どう行動できるかがポイント。また、アンケートを実施する際には、記入・回収の仕方について十分に配慮する。気になる記入には、即対応する必要がある。

（iii）即時対応

・ 第一歩として、「誰も助けてくれない」という無力感を取り払う必要がある。

・ 第二歩として、心理的なケア。安全な場所の確保をする。

・ 第三歩として、複数の教職員で役割を明確にしたチームを編成する。また、事前及び対応の過程で、被害生徒や保護者の同意を得て、経過を毎日報告する。信頼を得る行為。

3 今後に向けた指針

いじめに関わる問題は、「あの時にきちんと指導しておけば…」では遅い。生徒指導主事は学校の実態を把握し、全教職員で確認し合い、対応の足並みがそろうように努め、学校の体制づくりが進められるように自覚をもって主体的な進言が求められる。また、ラインなどSNSを介したトラブルが増えている。ネットモラルの授業を行うとともに、保護者への啓発が不可欠である。